

2025年1月20日

No. 6 4 9

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発行人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
電話 (024) 573-0515
FAX (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
anteil@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 森 口 克 彦
印刷所 (株) 第一印刷



新年のごあいさつ

公益社団法人福島県畜産振興協会
福島県畜産関係団体連絡協議会
会長 紺 野 宏



明けましておめでとうございます。

日頃より、県内の生産者・会員の皆様並びに関係機関の皆様には、当協会の業務推進につきまして格段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の畜産を取り巻く情勢を振り返りますと、急激な物価の上昇による家庭消費の冷え込みは様々な経済活動に大きく影を落とし、観光やインバウンドによる外食産業の需要も回復が弱く、ロシアによるウクライナ侵略の長期化や円安の影響などにより配合飼料価格をはじめとする諸資材価格が極めて不安定な相場で推移していることから、農家は健全な経営の維持において大きな負担を強いられたところであります。

さらに、和牛をはじめとする子牛価格が低迷しており、昨年6月には和子牛で肉用子牛生産者補給金が23年ぶりに発動し、それ以降も子牛価格は十分な回復基調となっていないことから、生産者の努力だけでこの状況乗り越えていくことは極めて厳しく、経営を廃止する農家も増加傾向にあるなど、担い手の確保が喫緊の課題となっております。

国、県において様々な経営安定対策が講じられておりますが、不安定な為替相場の影響は長期化の様相を払拭できず、今後も諸資材コストの高止まりが危惧される現在の厳しい情勢を踏まえ、より手厚い継続的な支援を強く希望するところです。

このような中、昨秋には福島県の畜産を元気にする明るい話題もありました。福島県の美味しい日本酒の酒粕を給与した福島牛が「福粕花（ふくはっか）」と命名され、本県初のブランド牛肉としてマスコミ報道でも大きく取り上げられました。「銘柄福島牛」に新たな付加価値が生まれ、本県産牛肉の価格向上と風評払拭の追い風になるものと期待をするところです。

今冬も寒さが本格的になり、高病原性鳥インフルエンザが全国各地で発生しております。今年度は既に昨シーズン

の11例を上回る発生事例数となり、過去最多に匹敵する勢いと報道されていることから、今後の防疫対策は予断を許さない状況にあります。本疾病の発生は、養鶏生産者のもとより本県畜産業界へ与える影響が大きいことから、改めて関係者が危機感を共有し、引き続き万全の対策を講じていかなければなりません。

当協会といたしましては、鳥インフルエンザをはじめとする特定家畜伝染病の侵入防止対策を徹底するため、家畜衛生対策事業の一層の推進と飼養衛生管理の強化に向け全力を尽くしてまいります。

東日本大震災と原発事故の発生から間もなく14年になろうとしております。浪江町、田村市で大規模な酪農肉用牛の畜産施設建設が着々と進められ、復興・再生の歩みは着実に前へ進んでおりますが、いまだ払拭できていない風評など多くの課題を抱えており、復興はまだ道半ばです。

本年は第2期復興・創生期間の区切りを迎える年となりますが、元気な福島県畜産を取り戻すまではまだ時間を要することから、今後も十分な財源のもと、次世代の担い手に経営を継承できる生産基盤の整備を図り、意欲ある優れた担い手を一人でも多く育成・確保していく必要があります。

担い手が安心して営農に取り組み本県畜産産業の発展に寄与していく環境を整えるため、国や県等関係機関・団体と連携し、持続可能な経営基盤の強化とさらなる畜産の振興に向けた各種事業を実施するとともに、国・県に対して万全の対策を講じるよう関係機関・団体と一体となって強く求めて参ります。

結びに、本県の畜産がさらに活性化し飛躍の年になりますよう役職員一丸となって努力して参りますので、本年もご支援、ご指導を賜りたくよろしくお願いをいたします。

また、皆様方の益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げ新年のごあいさつといたします。



新年のごあいさつ



福島県農林水産部
部長 沖 野 浩 之

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より本県畜産の振興に特段の御理解と御協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、本県初となるゲノミック評価を活用して選抜された基幹種雄牛「^{たかふくひさ}隆福久」のデビュー、全国トップクラスの酒処である本県日本酒の酒粕を給与した、新ブランド福島牛「^{ふくはっか}福粕花」の販売開始、更には、田村市及び浪江町の復興牧場稼働に向けた施設整備の着実な進展など、畜産振興に大きく歩みが進んだ年となりました。

その一方で、円安などの影響による飼料価格の高止まり、高齢化や担い手不足による酪農及び肉用牛の飼養頭数や戸数の減少、牛肉消費の冷え込みによる牛枝肉価格や子牛価格の低迷など、畜産業をめぐる情勢は非常に厳しい状況が続いた年でもありました。

このような中、本県の畜産業が持続的に発展していくためには、将来に向けて経営を継続しながら、輸入飼料に依存しない自給飼料生産体制の構築や高品質な畜産物の安定生産及び販売力の強化を図っていくことなどが重要であると考えます。このため、県といたしましては、飼料価格の上昇分の一部支援に加え、今年度は飼料以外の生産コスト増加に対応した支援を実施し、畜産農家の経営継続を後押しすることとしました。更には、子実用とうもろこしの栽培実証等による自給生産拡大の支援、高能力の乳用雌牛の導入支援、ゲノミック評価やA I 肉質診断技術を活用した福島牛の高品質化、マスメディアによる情報発信や販売促進イベント等による「福粕花」をはじめとする本県畜産物のブランド力向上など、皆様が安心して畜産経営を継続・発展していけるように様々な政策を切れ目なく講じ、福島県農林水産業振興計画の実現に向け取り組んでまいります。生産者の皆様には各種事業等を効果的に活用していただきながら、畜産生産基盤の強化に取り組んでいただくとともに、関係機関・団体の皆様方には、引き続き各種施策

の推進に、御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

現在、各県で続発している高病原性鳥インフルエンザにつきましては、過去最多の発生件数となった令和4年シーズンより早い時期から発生しており、本県でも野鳥での感染が確認されるなど、厳重な警戒が必要な状況が続いております。本県では、令和4年の県内初の高病原性鳥インフルエンザの発生経験を踏まえ、防疫対策マニュアルの改正や各地での防疫演習の実施、関係団体との連携強化等危機感をもって防疫対策に取り組んでいるところです。今後とも、飼養衛生管理基準の遵守はもとより、農場における早期発見と早期通報など、皆様の御協力をお願いいたします。

結びに、本県畜産業の振興に向け、一層の御尽力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとってすばらしい年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭の御挨拶といたします。





年頭の御挨拶

農林水産省東北農政局福島県拠点
地方参事官 松 井 章 房



新年、明けましておめでとうございます。

令和7年の新春を迎えるに当たり、年頭の御挨拶を申し上げます。

昨今の物価高騰や円安の影響は我が国の社会経済に多大なる影響を与えております。とりわけ畜産業には飼料、燃料などの各種生産資材の高騰という形で影響を受けるとともに、生活防衛意識の高まりによる畜産物の消費低迷により畜産農家の経営が厳しい状況になっております。

このような状況に対して、これまで各種畜産・酪農経営安定対策や配合飼料価格安定制度、金融支援などの各種施策を総合的に講じ、生産者への影響の緩和に努めてまいりました。また、令和6年度補正予算においては、需要が軟調に推移している和牛肉に対する需要拡大緊急対策や脱脂粉乳の在庫低減に係る民間の取組に対する支援等を講じることといたしました。

畜産・酪農の生産基盤の強化に向けて、肉用牛・乳用牛・豚・鶏の改良を推進するとともに、肉用牛の肥育期間の短縮・出荷時期の早期化や繁殖肥育一貫経営生産の支援、乳用牛については従来型の配合飼料多給による乳量偏重の乳用牛から、長命連産性に重きを置いた強健な乳用牛へ牛群構成の転換を図ることにより、乳牛育成・導入費、飼料費等のコストや環境負荷の低減に資する持続的な酪農経営への移行を支援してまいります。

また、畜産・酪農の省力化やスマート化に加え、国産飼料の生産・利用の拡大に向け、耕畜連携の推進や外部組織による飼料生産の効率化を図ってまいります。

少子高齢化等により国内の食のマーケットの縮小が見込まれる中、畜産業の発展には、旺盛な需要の創出も不可欠です。政府においては、農林水産物・食品について、2025年までに2兆円、2030年までに5兆円の輸出額目標を設定していますが、重点品目に位置づけられる畜産品(牛肉、牛乳・乳製品、鶏卵、豚肉、鶏肉)の輸出額は堅調に増加を続けており、2023年は1,008億円と2012年以降連続して増加しております。農林水産省では引き続き輸出目標の達成に向け、オールジャパンでのプロモーション等の取組や、生産者・関係事業者(食肉、乳業メーカー)・輸出事業者が連携した「コンソーシアム」による一貫した輸出

促進の支援、輸出先国が求める水準を満たす施設の整備への支援等を通じ、更なる輸出拡大を推進してまいります。

国内需要についても、関連イベント等を活用した消費拡大やインバウンド需要の喚起の取組を推進します。加えて、原発事故に関して、安全な畜産物を供給するため、適切な飼養管理の徹底と検査体制の強化、草地の放射性物質吸収抑制対策と汚染廃棄物の処理等を関係省庁等と連携して推進するとともに、「食べて応援しよう!」をキャッチフレーズに、被災地及び周辺地域で生産・製造されている農林水産物の積極的な消費拡大を促進しております。本年も、被災地域における営農再開の推進にしっかりと取り組んでまいります。

家畜防疫関係では、昨年10月以降、国内で14道県20事例(1/6時点)の高病原性鳥インフルエンザが発生しています。全国どこで発生してもおかしくない状況であり、最大限の警戒をお願いいたします。また、高病原性鳥インフルエンザだけでなく、豚熱やアフリカ豚熱などの家畜伝染病についても、関係者と危機感を共有し、飼養衛生管理の徹底を基本とした発生予防・まん延防止対策と水際での侵入防止対策に福島県等と連携して全力で取り組んでまいります。

最後になりますが、昨年は、食料・農業・農村基本法が改正され、食料安全保障が基本理念の柱と位置付けられるとともに、農業生産の増大を基本とし、農業生産基盤等の食料の供給能力の確保が重要であること等が盛り込まれたところです。本年は新たな食料・農業・農村基本計画の策定と併せて、畜産・酪農の中長期的な方向性の指針となる酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針や家畜改良増殖目標といった基本方針の見直しを、年度内をめどに進めてまいります。農林水産省としては、将来に向けて持続的な畜産・酪農を構築すべく、方向性を打ち出していきたいと考えておりますが、このためには、今まで以上に、生産現場、流通業界、行政の密な連携が重要となります。皆様におかれましては、畜産行政への御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の一層の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

水田輪作での子実トウモロコシ栽培にはRM115の品種が利用できる

福島県農業総合センター畜産研究所

昨今の国際情勢の影響により配合飼料の価格高騰が続く中、国産濃厚飼料の自給率向上を図る機運が高まり、主要原料となる子実トウモロコシの栽培が注目されています。また、相双地域では震災後、法人等による大規模な水田営農が行われるようになり、連作障害の回避や土壌物理性の改善、地力向上、省力化栽培等の利点を活かした、水稲－大豆－子実トウモロコシの輪作体系が推進されています。

これまで、子実トウモロコシを水田輪作体系に組み込む場合は、水稲収穫前に子実トウモロコシを収穫する必要があることから、極早生品種（相対熟度（RM）90、95）の利用が推奨されていましたが、収量が低いことが課題でした。

そこで、水稲収穫前の9月上旬までに収穫が可能であり、かつ極早生品種よりも収量の増加が期待できる品種の選定を目的として、中晩生品種（RM108、115、118）や晩生品種（RM123、129）を使用して調査を行いました。

その結果、RM115の品種を4月下旬に播種すると9月上旬までの収穫が可能であり、極早生品種より20%収量が多くなりました（図1）。しかし、5月下旬に播種すると9月上旬までに収穫できず、収量が減ることも分かりました。

そのため、中晩生品種を使用する場合は、4月下旬までに播種する必要があります。また、トウモロコシは湿害に弱い作物ですので、水田で栽培する場合は明渠・暗渠等による排水対策が必要である点にもご注意ください。

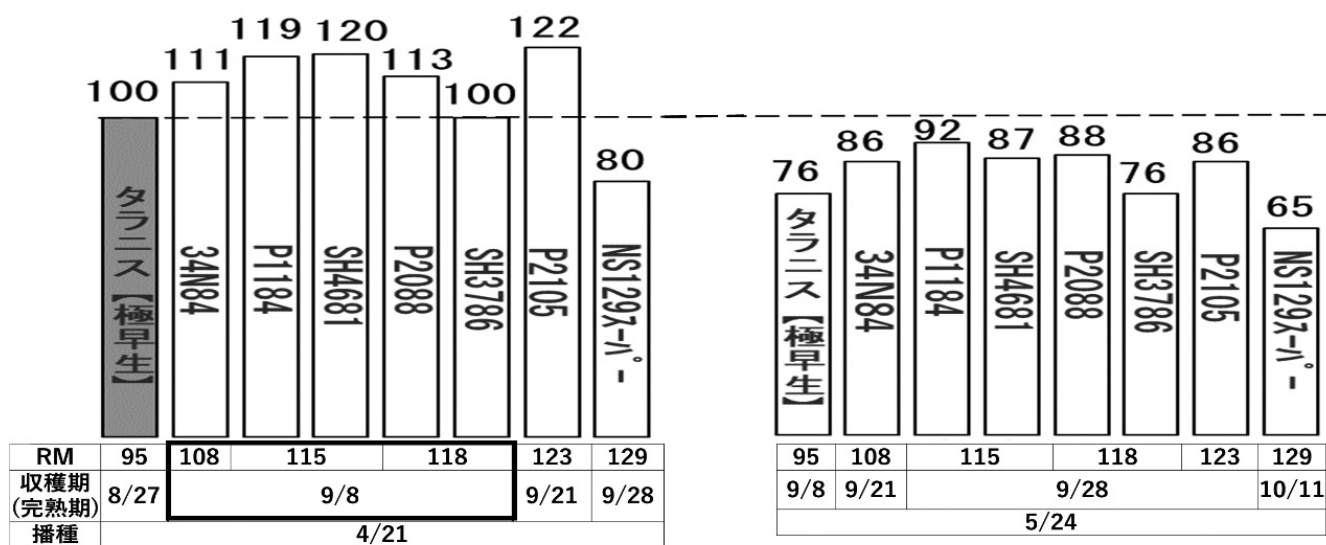


図1 各品種における播種時期別の子実収量と収穫（完熟）期の比

『本研究は、農林水産省（令和3年度～令和4年度）・福島国際研究教育機構（F-REI）（令和5年度～令和6年度）の農林水産業分野の先端技術展開事業のうち「広域エリアを対象とした大規模水田営農における生産基盤技術の確立」（JRFR24060106）」により実施しました』



動物と人の間に、いつもゼノアック。



日本全業工業株式会社
福島県郡山市安積町徳川字平ノ上1-1
www.zenoaq.com



JA東西しらかわ枝肉研究会でアグリカレッジ福島の出品牛が好成績！ ～愛情込めて育てた「福島牛」が県内量販店に初登場し大好評～

福島県農業総合センター農業短期大学校（アグリカレッジ福島）畜産経営学科の学生が育てた和牛が、昨年11月8日に東京食肉市場で行われたJA東西しらかわ主催の枝肉研究会において素晴らしい成績を収めました。

その自慢の和牛肉が、11月29日いい肉の日に県内のスーパーマーケットいちい全店と鎌倉屋で初めて販売され、大変好評でした。

この企画は、東日本フード株式会社さんと株式会社いちいさんのご協力により初めて実現した取組です。

今回出荷された肥育牛は、令和5年4月に本宮市の県家畜市場から導入された和子牛で、学生が毎日休まず手をかけ声をかけ、愛情を注いで育ててきた牛たちです。

これら肥育牛を毎年11月に開催されるJA東西しらかわ

枝肉研究会にエントリーして、自分たちが育てて来た肥育牛の出荷成績を確認し、評価をしていただきながら、次の肉牛管理に生かしてきました。

ここ数年、アグリカレッジ福島の出荷成績は安定して良好で、先生方の丁寧な指導と学生の意欲的な取組が良い結果に繋がってきているものと思われます。

今回出品した肉牛5頭の成績は全てA-5、うち3頭が最高の脂肪交雑BMSNo.12の評価で、2頭が研究会で優良賞に入賞しています。枝肉評価は、出品牛全体的に脂のノリが良く、ロース芯のサシの入りも極めて良好で、特に入賞した2頭はバラの厚さが10cmを超えてサシの入りも良いと高く評価されています。（下記成績表参照）



No.	性別	生後月令	格付	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(c㎡)	バラ厚(cm)	皮下脂肪(cm)	歩留基準値(%)	脂肪交雑(BMS No.)	主な良評価	研究会入賞
1	去勢	27.9	A-5	602	95	9.7	2.5	78.4	11		
2	去勢	28.3	A-5	582	76	10.0	3.1	75.9	12	芯ザシ良、バラ〇、ウデ〇	優良賞
3	去勢	27.9	A-5	546	89	10.4	2.6	78.8	12	芯ザシ良、バラ〇、モモ〇、ウデ〇、カタ厚	優良賞
4	去勢	28.1	A-5	558	80	9.5	2.7	76.8	12		
5	去勢	27.8	A-5	542	57	9.1	3.0	73.4	8	ウデ〇	



国産の牛乳、お肉、卵を 食べてまもう

畜産物を生産
するためのコストが上昇しています。
皆様に国産の畜産物を食べていただくことが
生産者の応援に繋がります。



公益社団法人
中央畜産会

中央畜産会 

TEL.03-6206-0840

東京都千代田区外神田2-16-2
第2ディーアイビル9F

全国の畜産会組織は地方競馬の売上の一部を活用して、日本の畜産振興に取り組んでいます。

牛肉販売日の当日、いちい須賀川店、鏡石店、信夫ヶ丘店では、学生も販売応援に立ち、試食のすき焼き振舞も行いました。

いちい信夫ヶ丘店では9時30分の販売開始から売れ行きが好調で、11時には急遽追加を行うことになるほどお客様の反応はすこぶる良好でした。

特に肩ローススライスやステーキのパックは霜降りの見栄えも良く、試食のすき焼き振舞の効果もあり、飛ぶように売られていました。

販売応援の学生たちは、自分たちが育ててきた牛たちが、多くの消費者の皆さんに高く評価されて、どんどん買われ

ていくことに驚き、喜びもひとしおで、また来年に向けて牛の管理に気合が入っている様子でした。

今回の企画でお世話になった東日本フードさん、スーパーマーケットいちい信夫ヶ丘店の担当者さんからは、「学生さんたちの熱意と努力が形になった素晴らしい牛肉で、その肉質の良さに正直びっくりしました。これからも学生さんの意欲向上の一助になれば幸いです」とのお話がありました。

アグリカレッジ福島を卒業した学生が、新たな担い手となって本県の畜産をリードしてくれることを願い、取材を終えました。



御用命は

- ◎牛用・豚用・鶏用
各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
☎(024)3631-2488

小田島商事株式会社
福島市鎌田字卸町十一の四
☎(024)5531-6678

日本全業工業株式会社
福島営業所
郡山市安積町笹川字平の上二一
☎(024)9451-3066

株式会社アグロジャパン
南東北営業部(福島)
郡山市開成六丁目六七一
☎(024)9541-4171

日新殖産株式会社
伊達市梁川町字東堀野川二五一
☎(024)5771-3122

株式会社アスコ

本宮市本宮字下台18-12
☎(024)3631-2488

『動物用医薬品は、
正しく使用し、
休薬期間を
厳守しましょう』

福島の大自然とみつばちからの恵み



天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地(福島県畜産振興協会内)
TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容と健康に
おいしい
はちみつはいかが！

品質と信頼の

くみあい配合飼料

JA全農グループ

JA全農くみあい飼料株式会社

北日本事業本部

〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
TEL (022) 792-8040 (代表)

南東北支店 福島営業所

〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827

畜 産 福 島

肉用子牛生産者補給金制度発動状況

令和6年度第3四半期（令和6年10月～12月）

（単位：円／頭）

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳 用 種	交 雑 種
保 証 基 準 価 格	564,000	514,000	328,000	164,000	274,000
合 理 化 目 標 価 格	444,000	404,000	258,000	110,000	216,000
平 均 売 買 価 格	521,900	677,100	—	201,300	329,400
補 給 金 単 価	42,100	—	—	—	—

※「その他の肉専用種（日本短角種等）」については、令和2年度より算定期間を1年（4月～3月）としています。
令和6年度第3四半期においては、黒毛和種について、平均売買価格が保証基準価格を下回ったことから生産者補給金（単価：42,100円／頭）が交付されることとなりました。

優良和子牛生産推進緊急支援事業発動状況

令和7年1月20日付け機構より公表された平均価格は以下のとおりです。
今期は、黒毛和種（兵庫県を除く）について、平均価格が発動基準価格を下回ったため、飼養管理向上の取組数に応じて、下記の通り奨励金が交付されます。
福島県においては東北ブロックのため奨励金の発動基準はCとなります。

令和6年10月～12月分

1 発動基準価格及び平均価格

（単位：円／頭）

品種・ブロック名		発動基準価格			平均価格	奨励金発動基準
		A	B	C		
黒毛和種	北海道	600,000	580,000	570,000	545,574	C
	東北				533,659	C
	本州関東以西・四国 （兵庫県を除く）				542,819	C
	兵庫県				1,009,645	—
	九州・沖縄				501,641	C
褐毛和種		550,000	530,000	520,000	677,100	—
その他の肉専用種		350,000	330,000	—	—	—

2 発動基準ごとの奨励金単価

（単位：円／頭）

品 種	奨 励 金 単 価			
	発動基準	取組数 2	取組数 3	取組数 4 以上
黒毛和種	A	10,000	10,000	10,000
	B	10,000	20,000	20,000
	C	10,000	20,000	30,000

注1：黒毛和種の平均価格は、肉用子牛生産者補給金制度の対象となる6ヶ月齢～12ヶ月齢の肉用子牛の指定市場における取引価格を用い、要綱別表1に定めるブロック別、四半期ごとに算出し、全国平均に対して著しく高い価格（偏差値70（平均+2標準偏差）以上）となる都府県（今回は兵庫県が該当）はブロック別平均価格の計算から除外します。
その他の肉専用種については、令和6年4月～令和7年3月までの取引価格を用いて全国平均価格を算出します。
注2：発動基準価格及び平均価格は消費税込みです。

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン制度）発動状況

（単位：円／頭）

販売月		肉専用種（東北ブロック福島県）	交雑種（全国）	乳用種（全国）
令和6年10月	暫定単価	103,277.7	3,477.6	42,574.5
	概算払い単価	96,277.7	0.0	35,574.5
	精算払い単価	7,000.0	3,477.6	7,000.0
令和6年11月	暫定単価	3,928.5	0.0	39,900.6
	概算払い単価	0.0	0.0	32,900.6
	精算払い単価	3,928.5	0.0	7,000.0
令和6年12月	公表前			

※生産者負担金の猶予対象牛（コロナ対策）については支払い交付単価の3/4の支払となります。
※R4.7月販売分より概算払単価は、標準的生産費と標準的販売価格との差額に100分の90を乗じた額から7,000円を控除した額となります。

子牛初セリにおいて牛鍋イベントを開催

うつくしま福島畜産mother'sクラブ e-E N

令和7年1月8日、9日に県家畜市場（本宮市）で全農福島県本部による和牛子牛市場（初セリ）の開催に合わせ、うつくしま福島畜産^{マザーズ}クラブ^{イーエン}による牛鍋イベントを開催しました。（協賛：全農福島県本部・（公社）福島県畜産振興協会）

このイベントでは、県内の畜産に携わる女性の仲間たちが、東日本大震災後、福島県の子牛を信頼して購入してくれる購買者や関係者への感謝の気持ちと、同じ生産者への励ましの思いも込めて、少しでも温かいものをと、黒毛和牛を使った牛鍋を初セリに振舞ってきました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、3年間中止となっていました。が、昨年より再開することができ、毎年楽しみにしている生産者も多く、準備した800食（2日間で1,600食）の牛鍋がお昼頃には完食という盛況振りでした。

一般財団法人畜産環境整備機構副理事長 原田英男氏との座談会も実施し、見通しがつかない現状への不安な気持ちや、日ごろの思いを直接聞いていただく良い機会となり、苦しい経営の中でもそれぞれが前を向いて頑張る姿や気持ちを再確認する貴重な時間となりました。

畜産情勢の厳しい中ですが、これからもみんなで励まし合い、少しでも畜産を盛り上げていけたらと思います。

イベント開催にあたり、多くの皆様より数々のご協力を賜りましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。



イベントアナウンスする木目澤会長



牛鍋



牛鍋配布の様子

マザーズクラブから行事開催のお知らせ

3月17日（月）13時より「県農業総合センター」（郡山市）において、会津木綿を使った小物づくりを開催します。

（講師：マザーズクラブ福田祐子さん）

*興味のある方はどうぞご参加ください。

お問合せ先：福島県畜産振興協会（野田）

電話番号：024-573-0514

肉用子牛のための「強化」哺育専用代用乳」ができました！！



“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL：0243-33-1101(代)

令和7年度 福島県家畜市場総合カレンダー

令和7年 4	日	曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
5	日	曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
6	日	曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
7	日	曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
8	日	曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
9	日	曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
10	日	曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
11	日	曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
12	日	曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
令和8年 1	日	曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
2	日	曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
3	日	曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	曜	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	

※[全農福島]：J A全農福島 開催日 [県酪協]：福島県酪農協 開催日

家 畜 市 場 名	市場開設団体	電話番号【FAX】	取引家畜
福島県家畜市場（本宮市） 0243-39-2636 【FAX】39-2690 （市場は開設日のみ）	J A全農福島（家畜市場課）	【TEL】024-983-0570 【FAX】024-956-0420	和牛子牛・成牛・乳子牛
	福島県酪農協同組合（購買畜産課）	【TEL】0243-33-4011 【FAX】0243-33-6983	毎月：肉用乳子牛 5・7・9・11・13月：妊娠牛・雄子牛も併設
	（管理団体） 公益社団法人福島県畜産振興協会（業務課）	【TEL】024-573-0513 【FAX】024-573-0565	

※ 御購買・輸送等は開設又は上場組合にご相談ください。

全国農業協同組合連合会 福島県本部 福島県酪農協同組合 公益社団法人 福島県畜産振興協会

家畜取引状況報告

令和6年11～12月 和牛子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

（税込）

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販売先	
			最高	最低	平均				県内	県外
11	雌	284	805,200	113,300	433,652	291	1,488	289	150	129
	雄									
	去勢	389	962,500	158,400	540,900	320	1,690	286	218	167
	計	673	962,500	113,300	495,837	308	1,610	287	368	296
12	雌	299	958,100	233,200	527,437	291	1,814	288	143	154
	雄									
	去勢	374	1,007,600	119,900	638,041	315	2,027	281	209	164
	計	673	1,007,600	119,900	589,012	304	1,936	284	352	318

令和6年11～12月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

福島県酪農業協同組合

（税込）

開催月	種別	頭数 (頭)	取引価格 (円)		
			最高	最低	平均
11月 第349回	ホル雄	53	38,500	1,100	15,462
	ホルフリー	2	1,100	1,100	1,100
	乳用種雄	1	15,400	15,400	15,400
	F ₁ 雌	59	143,000	1,100	88,261
	F ₁ 雄	91	148,500	11,000	99,816
	和牛雌	21	297,000	117,700	238,438
	和牛雄	40	465,300	1,100	295,697
	和牛去勢				
12月 第350回	ホル雄	49	69,300	1,100	32,237
	ホルフリー	1	1,100	1,100	1,100
	F ₁ 雌	61	176,000	1,100	103,959
	F ₁ 雄	77	176,000	11,000	120,757
	和牛雌	20	358,600	184,800	257,070
	和牛雄	45	614,900	41,800	335,800
	和牛去勢				
	計・平均	253	614,900	1,100	147,369

令和6年11～12月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

（税込）

開催月	資格	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最高	最低	平均		
11	乳登						
	妊娠牛	1	381,700	381,700	381,700		
	E T 和雌	4	275,000	222,200	255,475	3,088	83
	E T 和雄	7	504,900	298,100	405,350	4,047	100
	乳雌牛						
	乳雄牛	12	48,400	14,300	28,700	364	79
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	37	134,200	1,100	70,588	905	78
	F ₁ 雄(スモール)	39	145,200	5,500	85,685	1,064	81
	計・平均	100	504,900	1,100	103,979	1,301	80
12	乳登						
	妊娠牛						
	E T 和雌	7	333,300	185,900	253,785	2,687	94
	E T 和雄	8	569,800	209,000	388,438	3,516	111
	乳雌牛	1	1,100	1,100	1,100	14	75
	乳雄牛	21	27,500	1,100	14,685	199	74
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	49	139,700	1,100	89,346	1,206	74
	F ₁ 雄(スモール)	43	154,000	22,000	117,189	1,489	79
	計・平均	129	569,800	1,100	114,030	1,443	79

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね



県奨励品種優良牧草・飼料作物種子

福島県畜産振興協会

〒960-8502 福島市南中央三丁目3番地

Tel 024-573-0515

Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

(2月)

日曜	1土	2日	3月	4火	5水	6木	7金	8土	9日	10月	11火	12水	13木	14金	15土	16日	17月	18火	19水	20木	21金	22土	23日	24月	25火	26水	27木	28金
ニュートラック 福島				姫路	川崎	船橋	大井	浦和	大井	船橋	大井	浦和	大井	浦和	大井	浦和	大井	浦和	大井	浦和	大井	浦和	大井	浦和	大井	浦和	大井	
	JRA	JRA						JRA	JRA						JRA	JRA							JRA	JRA				
オープス磐梯				川崎	船橋	大井	浦和	大井	船橋	大井	浦和	大井	浦和	大井	浦和	大井	浦和	大井	浦和	大井	浦和	大井	浦和	大井	浦和	大井	浦和	大井

(3月)

日曜	1土	2日	3月	4火	5水	6木	7金	8土	9日	10月	11火	12水	13木	14金	15土	16日	17月	18火	19水	20木	21金	22土	23日	24月	25火	26水	27木	28金	29土	30日	31月	
ニュートラック 福島				姫路	川崎	船橋				水沢	大船	井橋					水沢	國田	池田					水沢	大井	名古屋					水沢	船橋
オープス磐梯	JRA	JRA						JRA	JRA						JRA	JRA			浦和			JRA	JRA							JRA	JRA	船橋

※ 発売日程は、変更になることがあります。

地方競馬の収益金は、畜産振興及び地方財政の改善に活用されています。



JRAはJ-PLACE発売日（発売レースは後半4レース）

地方競馬全国協会